

2024 年度 摂南大学 出題内容と学習のポイント

世界史	一般選抜 前期日程（3 科目型）
-----	------------------

●出題内容

問題・解答用紙番号	27・40	
試験時間	70 分	
解答形式	マーク 60%、記述（用語の書き取り）40%	
難易度	教科書に記載されている基本事項を中心とした出題であるが、用語の書き取りも多く、正確な知識が求められている。難易度は標準。	
問題の内容（構成）	1/20 実施 27 〔Ⅰ〕ヨーロッパの君主と文化 〔Ⅱ〕漢・唐 〔Ⅲ〕世界史上の書物	1/21 実施 40 〔Ⅰ〕冷戦下の中国 〔Ⅱ〕イギリス史（前 1 世紀～18 世紀） 〔Ⅲ〕交易と文化

●学習のポイント

①教科書を丁寧に読み込む

文章選択問題では、政治・社会史を中心に用語の暗記だけにとどまらない理解が求められる出題がある。教科書を丁寧に読み込み、重要な人物の事績や、出来事の因果関係について自分の言葉で説明できるようにしておきたい。また重要な政策や綱領はその背景や内容についても踏み込んで理解したい。

②書いて覚える習慣をつける

記述式の空欄補充問題が出題されるため、歴史用語は正しく書けるようにしておく必要がある。誤字などのケアレスミスを失くすために慎重な解答をこころがけるのはもちろんのこと、とくに中国史で出題される用語については、漢字で正確に書けるように日頃から書いて覚える学習を行うことが重要である。

③地図を活用する

リード文に登場する都市や出来事に関連する地図問題が出題されるため、教科書や資料集の地図・図版などを確認しつつ、頻出の都市の位置を把握しておくことが求められる。また重要な出来事については、それが起こった場所や地理的な環境を理解するなどの多角的な学習をこころがけたい。

④歴史をテーマで理解する

あるテーマについて複数の時代、地域を横断した問題が出題される。過去問などを通してテーマ史の問題に慣れるとともに、図説や資料集を利用して頻出のテーマについての理解を深めたい。

⑤文化史を軽視しない

文化史の問題が全体の 2～3 割を占めているため、対策は必要不可欠である。また通史と関連付けられた出題もあるため、用語の暗記にとどまらない理解が重要である。